

奉仕団紹介

◎埼玉工業大学赤十字奉仕団

埼玉工業大学の学生によって構成される埼玉工業大学赤十字奉仕団が、平成25年11月9日(土)・10日(日)に1泊2日の災害時対策訓練を実施しました。

同大学は深谷市指定避難所となっており、災害時には在學生・教職員のみならず地域の人々の避難所として開放されます。今回の訓練には在學生・教職員合わせて48名が参加し、災害時の学内の状況を想定して朝夕の炊き出し・校舎内宿泊を体験し、傷病者の救急法を学びました。

初日は災害対策に関わるいくつかの講習を受講し、非常時用のお米とカレー粉を使用した炊き出しを体験しました。夕食後には「より多くの学生にボランティアへ参加してもらうためにはどうすればよいか」というテーマにより、参加者全員でグループディスカッションを行いました。

2日目は校内清掃から始まり、前日と同様にテントの下で朝食の炊き出しを体験しました。その後、日赤埼玉県支部のご協力のもと、三角巾を用いた応急処置法ならびに傷病者の搬送法を実技講習にて学びました。「初めて三角巾を手にとった」、「初めて傷病者の搬送法を知った」という学生が大半で、少しでも知識を身につけようと指導員のお手本を見つめ、戸惑いながらも懸命に実技に取り組む姿が印象的でした。講習会が終了する頃には、学んだ事を自分の手で実践できるようになり、達成感を得ると同時に救急法への意識も高まったようです。

2日間の訓練終了後には、参加者から「実際の災害時はこの訓練以上に変な状況になるだろうと想像すると、しっかりと準備・対策しておかなければならないと感じた」「災害対策も、救急法も、体験してみて意識が変わった。これから積極的にボランティア・訓練に参加したい」といった声も聞こえました。参加者がこの訓練を通じて得た知識を生かし、災害時に適切な対応を取ってくれることを期待します。



グループディスカッションの様子



傷病者搬送訓練の様子

◎町民まつりで災害非常食を紹介

平成25年10月20日(日)に松伏記念公園で開催された「まつぶし町民まつり2013」に松伏町赤十字奉仕団として参加しました。

当日は、あいにくの雨天でしたが、ハイゼックス[※]を使用した「災害時の非常食カレーライス」や手作りのアクセサリーなどを販売したほか、来場者にチラシなど赤十字の広報資材を配布して、赤十字活動の広報と松伏町奉仕団の団員募集を行いました。

松伏町は9月2日に発生した竜巻災害の被災地域であり、少しでも地域の方のお力になれたらと思いました。

今回の「まつぶし町民まつり」の参加で得た売り上げについては、松伏町の被災者への寄付といたしました。

[※]ハイゼックス：ポリエチレン製の袋で、お米を袋に詰め、沸騰させるだけで御飯が炊きあがります。



テントで多くの品を出品しました。

◎入間万燈まつりに参加

入間市赤十字奉仕団では、平成25年10月26日・27日の2日間、入間万燈まつりにバザーを出店しました。

まつりの開催日は、台風26号、27号の影響で中止を心配しましたが、予定通りに開催しました。まつりでは、各団員が家から持ち寄った衣類や食器などの品物をバザーの商品として販売したほか、まつりの来場者に赤十字のリーフレットなどの広報資材を配布し、赤十字活動のPRを行いました。

バザーの売上金は、奉仕団の活動資金や義援金などの寄付といった形で活用いたします。



バザーの様子